

県内の「ふれあい・いきいきサロン」及び「子育て支援団体」の活動実態調査を実施しました



地域で暮らす高齢者や子育て中の人たちなどを対象として、地域住民が身近な場所で気軽に楽しく過ごすサロン活動は、仲間づくりや居場所づくりの場として、全国に広がっており、県内ではあわせて1,500か所を超える高齢者や子育てのサロンが活動しています。

そこで、当会では、平成22年度県内のサロン活動の実態について調査いたしましたので、その概要をご報告します。

ふれあい・いきいきサロンの活動状況



調査時期：平成22年8月～9月
調査方法：サロン運営者へ郵送
回収数（率）：1,074か所（78%）

ふれあい・いきいきサロンは、高齢者を対象とした自主的な活動であり、県内で1,145か所のサロンが活動しています。また、この他に同様な取り組みとして鹿児島市では市の事業として『お達者クラブ』の活動が231か所で行われています。 **グラフA-1**

サロン運営者の立場としては、鹿児島市では「健康づくり推進員」、他の地域では「ボランティア」が最も多く、「老人クラブ会員」「民生委員」の方も多くいらっしゃいます。

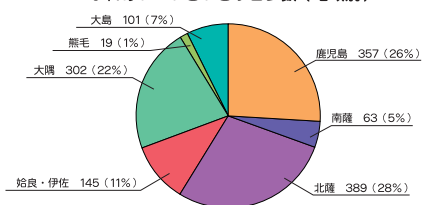
活動回数は、「月1回」が半数を占め、次いで「隔週（月2回程度）」「隔月（年6回程度）」が多くなっています。利用者の平均年齢は「75～79歳」となっています。

活動内容は、食事やレクリエーション、カラオケなど多彩ですが、その中で参加者が楽しみにしている活動は **グラフA-2** のとおりとなっており（上位5位）、「おしゃべり」が参加者のなにより楽しみとなっているようです。

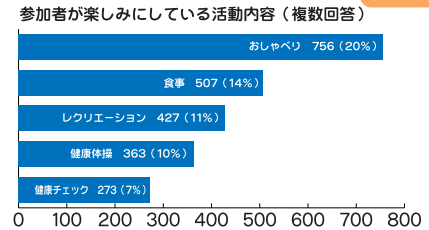


活動の課題として、「男性の利用者が少ない」が最も多く、次いで「補助金等の継続・拡充」「勧誘してもなかなか参加してもらえない人がいる」ことが挙げられています。

グラフA-1 ふれあい・いきいきサロン数（地域別）



グラフA-2 参加者が楽しみにしている活動内容（複数回答）

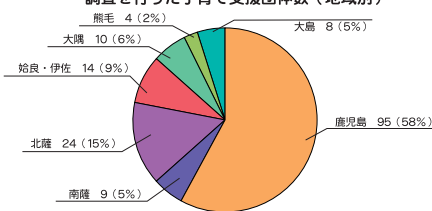


子育て支援団体の活動状況

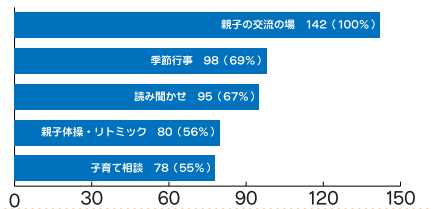


調査時期：平成22年7月～8月
調査方法：団体代表へ郵送
回収数（率）：141か所（86%）

グラフB-1 調査を行った子育て支援団体数（地域別）



主な活動内容（複数回答）



→その他（おもちゃ作り、外遊び、ママのリフレッシュ講座、育児勉強会や講演会など）

平成22年7月から8月にかけて、県内でインフォーマルな子育て支援を行っている子育てサロン、育児サークル、母親クラブ等、164か所に対して活動実態調査を行い141か所から回答がありました。 **グラフB-1**

その結果によると活動の運営母体は、「市町村社協」が最も多く、鹿児島市では、47校区社協において児童委員等が中心となり、子育てサロンを運営しています。その他は「自主育児サークル」、「母親クラブ」、「生協」等となっています。

主な活動場所としては公民館や福祉館、支援センター・保健センターなどの「公共の福祉施設」で、住民が気軽に足を運びやすい場所で実施されています。

また、活動回数や時間帯は「毎月1回」が最も多く、開催時間は「午前中」がほとんどで、親子が参加しやすい時間帯となっているほか、参加者数は、1回当たり平均で「20人程度」が最も多く、小規模数から、50人以上の大人数で活動しているところもあるなど、幅広い活動を行っています。

主な活動内容は、 **グラフB-2** のとおりです。

活動の課題や問題点としては、「活動財源の確保」や「ボランティア・後継者不足」、「活動内容のマンネリ化」などが挙げられました。

問い合わせ先

～この調査は鹿児島県の公募型雇用創出事業で実施しました～ ※調査結果については、当会ホームページに掲載します

鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 TEL: 099-257-3855